

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	青少年家庭課	氏名	北井 千鶴子
派遣先 団体名	特定非営利活動法人 もりふれ倶楽部		

① 研修の日時

- 7月23日 橋本式作業路と森林経営研修 飯南町農業活性化センター
 9月 4日 みーもスクール 雲南市立西小学校
 9月12日 緑の少年団 松江市立宍道小学校
 10月 1日 楽山公園再生イベント 楽山公園
 11月23日 森林・里山の循環から食を考える・晩秋の里山体験 雲南市内

② 研修の内容(できるだけ詳しく記載してください。)

○橋本式作業路と森林経営研修

飯南町主催、もれふれ倶楽部企画・運営の「橋本式作業路と森林経営研修」として橋本光治氏による講義と森林での現地研修を受講した。持続可能な林業経営でH28内閣総理大臣賞を受賞された橋本氏の講義では、今までの失敗や経験を活かしたお話をされ、「人との出会いの大切さ」や「流行を追うな、本質を追求しろ」などの言葉が印象に残った。



○みーもスクール(雲南市立西小学校)

西小学校4年生30名に対して、第3回みーもスクール(授業の中で継続的に行う森林保全活動)を実施した。6人ずつ1組になってもらい、「いわくまの森(学校林)」までの目隠し歩行や雑草の中に隠した人工物探しなどのネイチャーゲームの補助をした。学校の隣に「いわくまの森」が整備されており、関係者が一丸となって児童への森林学習に取り組んでおられた。



○緑の少年団(松江市立宍道小学校)

宍道小学校5年生40名に対して、しまね森づくり Kommission 出前講座を実施した。前半は「森の大切さの講義」、後半は目隠し歩行や音の記号化など「ネイチャーゲーム」を実施され、その写真撮影を行った。講義では、里山との共存をテーマに、何百年も人と自然が共存して循環していること、これからも人が間伐などして守り続けていく必要があることなどを学んだ。



○楽山公園再生イベント

松江市委託事業の第2回楽山公園再生イベントを実施した。参加者約40名は2班に分かれ、交互に竹林が整備された公園内を散策しながら自然観察を行ったり、広場で竹細工づくりや竹筒で焼いた米粉ケーキづくりをし、クロモジ茶と一緒に試食した。ケーキづくりの補助や片づけを行ったが、ケーキづくりも無煙炭化器を使用するなど環境に配慮されていた。



○晩秋の里山体験（雲南市内）

NPO法人さくらおろちとの共催で、第3回里山食べ事塾「さくらおろち湖と中流編Ⅱ」を実施した。参加者約20名で、午前中は職人による焼き鯖の見学後、郷土料理（焼き鯖寿司、すば豆腐、うの花あえ、大根サラダ、さといものつるぷり汁）を調理・試食した。午後からは、雲南市内でゆず畑の収穫を体験した。松江市からバス移動となったため、添乗補助や調理補助を行った。地元の方との交流の場にもなっていると感じた。



① 研修の感想

（研修の全般的な感想、各団体での活動の意義や協働に対する感想（研修前後における意識の変化）等について記入してください。）

もりふれ倶楽部では、島根県立ふるさと森林公園を拠点に、「森林ボランティア活動」や「里山保全の普及啓もう活動」を実施されているが、間伐実施などの直接的な事業から学校訪問やイベント開催などの啓発事業などの活動を県内全域でほぼ毎日行っておられることにびっくりしました。

また、林業経営者への研修やボランティア養成など担い手育成も積極的に行っておられ、想像以上に多種多様な活動をされていることに感心しました。

今回の研修を通じて、自身の協働事業への認識不足、直接活動に触れることの大切さを改めて痛感しました。

最後になりましたが、野田事務局長、藤原さんをはじめ、関わっていただいた全ての皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。

② その他特記事項

（※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。）

（注1）研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

（注2）報告書は、平成30年1月31日までに人事課あてにメールで提出してください。